

□議員名：吉永美子

1 改正社会福祉法成立による取組について

論点	改正社会福祉法の成立により、市民の複合的な課題に一括して対応できる体制づくりを進めることになるが、どのように進めていくか。
回答	市民の複合的な課題に一括して対応できる体制については、専門職を含めた各部門が連携共同することで、市民のお困り事に寄り添った包括的な対応が可能になると考えていることから、まずは、現行の相談体制をより充実させるとともに、庁内外の関係機関との連携体制を強化し、市民の複合的な課題に対応していきたい。

論点	重層的支援体制整備事業を実施するにあたり、国が意向調査や所要額の見込みなどについてアンケートを行ったが、どう対応したか。
回答	アンケートに関しては、まず令和3年度においては実施をしない、そして、令和4年度以降は、実施は未定だが今後検討していくという形で回答している。

2 高泊校区の私立保育園の閉園について

論点	令和4年3月末予定の西福寺保育園の閉園に当たり、市の責務をどう果たしていこうとしているのか。
回答	公立保育園においては、校区は異なるが、該当の保育園の近くに位置し、施設面積に比較的余裕のある公立保育園の定員を増やすことも検討の一つである。また、私立保育園に少し定員を増やさないかというような協力をお願いもしている。閉園による影響を最小限に抑えることができるように、検討を続けている。

論点	公設民営化の考えはないか。
回答	公設民営化という手法は、保育園に限らず、公共施設を今後建て替えなり更新していく中で、必ず検討すべき過程だと考えており、保育園について否定しているわけではないが、現在2つの公立保育園を更新中であり、たちまちに検討するのは困難だと考えている。

3 バリアフリーの推進について

論点	本年10月、国土交通省と内閣府が災害時における避難所の環境整備を図るため、市町村にマンホールトイレの整備を検討するよう求める通知を初めて出したが、本市の取組について考えを聞く。
回答	多数の避難者が来られた場合や避難所生活が長期化した場合など、マンホールトイレが有効な場合も考えられるので、各避難所のマンホールトイレの整備が可能かどうかなど、関係部局と調査研究していきたい。

論点	公共施設のトイレは建設年度などによっても附随するトイレの性能に大きな差がある。多くの市民が利用するトイレについて、その性能の差を解消する考えについて聞く。
回答	現在、学校のトイレの洋式化については、計画的に実施しているところだが、その他公共施設については今後、施設の新設、改修などに合わせ、トイレの性能に差が生じないように取組を進めていきたいと思っている。

論点	埴生の新施設には公明党が要望したようなトイレの整備がされているが、厚狭地区複合施設の建設は数年前にも関わらず性能に差がある。差がついたままにするのか。
回答	厚狭地区複合施設の多目的トイレには、暖房便座や洗浄機能がついているが、その他の洋式トイレについては、暖房便座も洗浄機能もついてないという状況である。他の施設の状況を見ながら、関係部署と協議し、トイレの性能差解消に向けての検討をしていきたい。

論点	公民館トイレの洋式化について、計画があるのであれば、洋式化率に差があるのはおかしい。早急に差の解消を行うべきである。
回答	公民館のトイレの洋式化は年度ごとに計画を立てているが、議員の指摘のように須恵公民館などは洋式化率が低いので、トイレの数も考えながら計画を立てていきたい。

論点	小中学校トイレ洋式化年度別計画表には令和8年度までの計画が載っているが、その時点で洋式化は何%までいくのか。
回答	学校のトイレの洋式化については、目標を50%として計画的に実施している。令和8年度まで予定どおり進めていけば、34.3%になる予定である。

4 子宮頸がんワクチンの定期接種について

論点	子宮頸がんワクチンは2013年に定期接種となったが、積極的勧奨の中止となっている。子宮頸がんワクチンの定期接種に関する情報提供の現状と今後の予定を聞く。
回答	情報提供については、昨年度までは保険事業の広報紙「すこやか山陽小野田」や市ホームページのみで行っていたが、今年度は、市内の小児科、産婦人科医の意見、厚生労働省からの通知を受けて、接種対象者に個別に情報提供を行う予定としており、現時点で定期接種対象年齢までの期限の短い高校1年生相当の未接種者に対して、郵送による個別の情報提供を済ませている。今後は、中学生に対しては学校を通じて全学年にリーフレットの配布、小学6年生に対しては中学校の入学説明会で保護者に対してリーフレットを配布し説明を行う予定としている。

論点	子宮頸がんワクチンの接種率の推移について聞く。
回答	接種が開始された平成25年が8.4%、そして、積極的勧奨を控えた段階からほぼ0.2%から0.7%という低い状況で進んでいるところである。

論点	個別通知をして、それに対して申込があったという実態はあるか。
回答	申込に関しては、医療機関に直接行かれているので、全数の把握はできていないが、昨年と比べると実績件数が伸びてきているという報告は受けている。